

重点品目

トマト

～年間を通じた高品質なトマトの安定出荷～

1 県内の主な産地（Ｒ４年度 県農産課調べ）

高梁市（22ha）、新見市（15ha）、真庭市（8ha）

2 生産状況（農林水産統計）

区 分	H30	R 元	R 2	R 3	R 4	R 4 /H30
栽培面積(ha)	115	104	99	102	108	93.9%
生産量(t)	4,650	4,710	5,750	5,100	5,760	123.9%
産出額(億円)	19	16	22	20	—	—%

3 特長

- ・ 県中北部の夏秋トマトを中心に、県産野菜の中で最大の産出額を占めており、生産団地の整備により今後も拡大が期待される品目である。
- ・ 共同選果、予冷体制の整備により市場から高く評価されている。
- ・ 養液土耕システムやマルハナバチなどの省力化技術が導入されている。
- ・ 産地独自のブランド確立や収量増加に向けた現地実証等の取組が活発である。
- ・ 県南部の冬春トマトでの企業参入が進んでいる。

〈振興方針〉

- ・ 担い手の確保・育成による産地の維持・拡大
- ・ 生産団地の整備や省力化・安定生産技術の導入による出荷量の増加
- ・ 高温対策と品種特性に合わせた栽培管理による9月以降の出荷量の増加

